



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社 ジーダット

上場取引所 東

コード番号 3841 URL <http://www.jedat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 松尾 和利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 田口 康弘

TEL 03-6262-8400

四半期報告書提出予定日 2020年11月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	915	2.9	74	2.0	72	0.7	48	1.0
2020年3月期第2四半期	943	0.8	76	183.8	73	122.4	49	142.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	25.34	25.34
2020年3月期第2四半期	25.55	25.55

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,450	2,874	83.3
2020年3月期	3,396	2,862	84.3

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 2,874百万円 2020年3月期 2,862百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		20.00	20.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,050	8.2	170	30.7	170	25.5	112	20.6	58.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	1,951,900 株	2020年3月期	1,950,200 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	30,191 株	2020年3月期	30,145 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	1,920,452 株	2020年3月期2Q	1,922,984 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における、当社の主要顧客である電子部品業界は、第2四半期に入り増々激化してきた貿易摩擦の影響、および長期化する新型コロナウイルス感染拡大による経済活動停滞の影響を受けて、車載関連等の分野では厳しい状況が続いています。その一方、世界的な「リモートワーク」の普及に伴い、データセンター関連ならびにPC関連、そして5G関連の分野においては概ね好調を維持しています。しかしながら今後、貿易摩擦ならびに経済活動停滞が更に長期化した場合、電子部品業界全体にその影響が浸潤する可能性も否定できないことから、先行き不透明感は払拭できない状況であります。

こういった状況の中、当社はアナログLSI設計の自動化および特定デバイスの設計効率化に向けた研究開発活動を継続して、主力製品である「SX-Meister」の新バージョンをリリースしました。また国内外の移動制限が継続する中、多彩な手段を講じてリモートを主体とした販売活動を行い、加えてWebを活用した「JEDATウェビナー2020」を開催して各種新製品の紹介を行いました。ソフトウェア設計受託においては、好調なデバイス製造装置メーカー等との連携を深める活動を行いました。デバイス設計受託においては、貿易摩擦の影響を受けて低下しつつある需要に対抗して、国内外を対象に積極的な提案活動を展開しました。一方固定費に関しては、国内外の移動制限や各種イベント中止に伴う削減効果にプラスして、不要不急の経費を抑える事で大幅な圧縮を実現しました。

このような活動の結果、売上高は低下傾向のデバイス設計需要の影響を受けて9億15百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。営業利益は固定費の圧縮効果もあり74百万円（前年同四半期比2.0%減）、経常利益は72百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。四半期純利益は48百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 当第2四半期会計期間の総資産、負債、純資産の概況

総資産は、前事業年度末と比較して54百万円（1.6%）増加し34億50百万円となりました。内訳として流動資産は63百万円（2.0%）増加し32億63百万円、固定資産は9百万円（5.0%）減少し1億87百万円となりました。流動資産が増加した主な要因は、受取手形及び売掛金が90百万円（40.6%）減少し1億31百万円となった一方で、現金及び預金が1億8百万円（4.0%）増加し28億28百万円となったことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末と比較して42百万円（7.9%）増加し5億75百万円となりました。内訳として流動負債は前事業年度末と比較して42百万円（8.0%）増加し5億69百万円、固定負債は前事業年度末と同額の6百万円となりました。流動負債が増加した主な要因は、前受金が48百万円（16.6%）増加し3億42百万円となったことによるものであります。

純資産は、前事業年度末と比較して11百万円（0.4%）増加し28億74百万円となりました。純資産が増加した主な要因は、利益剰余金の増加10百万円（0.8%）によるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末の84.3%から83.3%となりました。

#### ② 当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの概況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末と比べ1億9百万円増加し19億2百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は前年同四半期比で59百万円（27.5%）減少し1億57百万円となりました。主な要因は、前渡金の増加40百万円の一方で、売上債権の減少1億円及び、税引前四半期純利益72百万円を計上したことによるものです。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は前年同四半期比で0.3百万円（2.9%）増加し11百万円となりました。主な内訳は、投資有価証券の取得による支出を6百万円計上したことによるものです。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期比で1百万円（4.4%）減少し36百万円となりました。主な内訳は、配当金の支払であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月15日に公表しました2021年3月期の業績予想からの変更はありません。なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合があり得ることをご承知おきます。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,720,494	2,828,972
受取手形及び売掛金	221,850	131,729
電子記録債権	177,725	167,446
仕掛品	13,531	13,969
原材料	585	210
その他	65,253	121,017
流動資産合計	3,199,440	3,263,346
固定資産		
有形固定資産	41,131	38,982
無形固定資産	4,701	8,854
投資その他の資産		
投資有価証券	58,441	65,208
繰延税金資産	37,559	35,131
その他	55,412	39,217
投資その他の資産合計	151,413	139,557
固定資産合計	197,246	187,394
資産合計	3,396,686	3,450,740
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	40,289	29,585
未払法人税等	34,851	31,383
賞与引当金	85,075	82,854
前受金	293,868	342,548
その他	73,387	83,253
流動負債合計	527,471	569,625
固定負債		
資産除去債務	6,310	6,310
固定負債合計	6,310	6,310
負債合計	533,781	575,935
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	760,109	760,982
資本剰余金	891,028	891,901
利益剰余金	1,240,049	1,250,320
自己株式	△28,491	△28,547
株主資本合計	2,862,696	2,874,657
新株予約権	208	147
純資産合計	2,862,905	2,874,805
負債純資産合計	3,396,686	3,450,740

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	943,431	915,867
売上原価	390,184	348,328
売上総利益	553,247	567,538
販売費及び一般管理費	476,831	492,644
営業利益	76,416	74,893
営業外収益		
受取利息	304	63
投資事業組合運用益	—	2,073
その他	36	111
営業外収益合計	340	2,248
営業外費用		
為替差損	2,772	4,045
投資事業組合運用損	775	—
その他	—	415
営業外費用合計	3,548	4,461
経常利益	73,208	72,680
税引前四半期純利益	73,208	72,680
法人税、住民税及び事業税	20,341	21,580
法人税等調整額	3,726	2,428
法人税等合計	24,068	24,008
四半期純利益	49,140	48,671

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	73,208	72,680
減価償却費	8,663	9,608
賞与引当金の増減額(△は減少)	79	△2,221
投資事業組合運用損益(△は益)	775	△2,073
受取利息	△304	△63
売上債権の増減額(△は増加)	23,897	100,400
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,944	△63
前渡金の増減額(△は増加)	△27,713	△40,017
仕入債務の増減額(△は減少)	19,197	△10,703
未払金の増減額(△は減少)	△18,904	△105
前受金の増減額(△は減少)	181,960	48,680
その他	△15,405	6,097
小計	235,508	182,219
利息の受取額	586	139
法人税等の支払額	△18,255	△24,511
営業活動によるキャッシュ・フロー	217,839	157,847
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△926,897	△926,422
定期預金の払戻による収入	927,752	926,422
有形固定資産の取得による支出	△9,029	△3,789
投資有価証券の取得による支出	△543	△6,428
敷金の回収による収入	327	—
敷金の差入による支出	△1,980	△156
その他	△884	△1,214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,255	△11,587
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△55
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	1,684
配当金の支払額	△38,481	△38,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,481	△36,771
現金及び現金同等物に係る換算差額	△348	△255
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	167,754	109,233
現金及び現金同等物の期首残高	1,656,000	1,793,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,823,754	1,902,519

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。